# 安全性データシート

## 1. 化学物質等および会社情報

物質/製剤の区分

製品コード　1145005
製品名　HLA Positive Control Freeze-Dried

会社/企業の特定

Life Technologies
5791 Van Allen Way
PO Box 6482
Carlsbad, CA 92008
+1 760 603 7200

〒108-0023 東京都港区芝浦四丁目2番8号
住友不動産三田ツインビル東館
ライフテクノロジーズジャパン株式会社
TEL 03(6832)9300

24時間対応の緊急連絡先

866-536-0631
301-431-8585
Outside of the U.S. +1-301-431-8585

研究上の使用のみ。 人間または動物の診断上または治療上の使用は意図されていない。

## 2. 危険有害性の要約

GHS 分類

注意喚起語
危険

健康有害性

| | |
|---|---|
| 急性経口毒性 | 区分4 |
| 呼吸器感作性 | 区分1 |
| 皮膚感作性 | 区分1 |
| 生殖毒性 | 区分2 |

物理化学的危険性
危険ではない

危険有害性情報
H302 - 飲み込むと有害
H317 - アレルギー性皮膚反応を起こすおそれあり
H334 - 吸入するとアレルギー、喘息、または呼吸困難を起こすおそれあり
H361 - 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い

注意書き
P301+ P330 + P331 - 飲み込んだ場合：口をすすぐ。無理に吐かせない。
P201 - 使用前に取扱説明書を入手する。
P202 - すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。
P272 - 汚染した作業着を職場から持ち出してはいけない。
P304 + P341 - 吸入した場合：呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
P333 + P313 - 皮膚に刺激または発疹がある場合： 医療機関で診断を受ける。

健康への潜在的な影響

| | |
|---|---|
| 眼 | 敏感な人は眼に炎症を起こすことがある。 |
| 皮膚 | 皮膚に接触すると感作を引き起こす可能性がある。 |
| 吸入した場合 | 吸引すると有害のおそれあり。 |
| 飲み込んだ場合 | 飲み込むと有害。 |

特定の影響

| | |
|---|---|
| 発癌性 | なし |
| 変異原性 | なし |
| 生殖毒性 | R62- 生殖機能不全を引き起こす可能性あり。 R63- 胎児に有害の可能性あり。 |
| 感作性 | なし |
| 特定の臓器への影響 | 通常使用状況下での影響は何も知られていない。 |

## 3. 組成、成分情報

| 化学名 | CAS番号 | 重量パーセント |
|---|---|---|
| ストレプトマイシン硫酸塩 | 3810-74-0 | 0.1-1.0 |
| アジ化ナトリウム | 26628-22-8 | <0.25 |

本製品に含有される物質はそれぞれ健康に対して有害と考えられる濃度ではない。 アジ化ナトリウムは、鉛および銅管と反応して爆発性が高い金属アジド類を形成する可能性がある。 すべての化学物質を注意深く取り扱う。

## 4. 応急措置

| | |
|---|---|
| 皮膚に付着した場合 | 多量の水でゆすぐ。 症状が出たら医師に相談する。 |
| 目に入った場合 | 直ちに、最低15分間まぶたの内側も含め多量の水でゆすぐ。 症状が持続する場合、医師に相談する。 |
| 飲み込んだ場合 | 意識のない場合には絶対に口から何も与えない。 症状が持続する場合、医師に相談する。 医師の指示がない場合、吐かせない。 |
| 吸入した場合 | 新鮮な空気のある場所に移動する。 症状が持続する場合、医師に相談する。 呼吸していなければ人工呼吸を施す。 |
| 医師に対する特別な注意事項 | 症状に応じた治療を行う。 |

## 5. 火災時の措置

| | |
|---|---|
| 適切な消火剤 | 水スプレー。 二酸化炭素 (CO2)。 泡。 乾燥粉末。 |
| 消防士の特別保護具 | 自給式呼吸装置と保護服を着用する。 |

## 6. 漏出時の措置

人体に対する予防措置　保護具を着用する。
除去方法　機械で採取し適切な容器に入れて処分する。

環境に対する予防措置

安全に行なえるなら漏洩を食い止める。

詳細は「12. 環境影響情報」を参照する。

## 7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い　推奨される個人保護具を常に着用する。 取り扱いに関する注意事項は特にない。
保管　乾燥し涼しく換気のよい場所で保管する。

## 8. 暴露防止および保護措置

暴露限界

| 化学名 | Japan REL - Ceiling Limits | 暴露限界値、生物学的暴露指標 |
|---|---|---|
| ストレプトマイシン硫酸塩<br>3810-74-0 | なし | なし |
| アジ化ナトリウム<br>26628-22-8 | なし | なし |

設備対策　特に閉鎖された区域では十分な換気を確保する。

保護具
個人用保護具の必要要件は使用者の施設の危険性評価により、それぞれの施設に特有のものである。

呼吸器の保護　換気が十分でない場合、適切な呼吸装置を着用する。
手の保護具　浸透性のない手袋。
目の保護具　サイドシールド付き安全眼鏡。
皮膚及び身体の保護具　軽量の保護服。
衛生対策　適切な労働安全衛生法の規定に基づき取り扱う。

環境暴露管理　製品を排水施設に流してはならない。

## 9. 物理的および化学的性質

一般情報

| | | |
|---|---|---|
| 形状 | 凍結乾燥粉末 | |
| 外観 | 情報なし | |
| 臭い | 情報なし | |
| 沸点/範囲 | °C データなし | °F データなし |
| 融点/範囲 | °C データなし | °F データなし |
| 引火点 | °C データなし | °F データなし |
| 自然発火温度 | °C データなし | °F データなし |
| 酸化特性 | 情報なし | |
| 水溶性 | データなし | |

## 10. 安定性および反応性

安定性　通常条件下では安定。
混触危険物質　アジ化ナトリウムは、鉛および銅管と反応して爆発性が高い金属アジド類を形成する可能性がある。
危険有害な分解生成物　通常使用条件下ではない。
重合　危険有害な重合は起こらない。

## 11. 有害性情報

## 急性毒性

| 化学名 | LD50 (oral,rat/mouse) | LD50 (dermal,rat/rabbit) | LC50 (inhalation,rat/mouse) |
|---|---|---|---|
| ストレプトマイシン硫酸塩 | = 430 mg/kg (Rat) | データなし | データなし |
| アジ化ナトリウム | = 27 mg/kg (Rat) | データなし | データなし |

健康への潜在的な影響

| | |
|---|---|
| 眼 | 敏感な人は眼に炎症を起こすことがある。 |
| 皮膚 | 皮膚に接触すると感作を引き起こす可能性がある。 |
| 吸入した場合 | 吸引すると有害のおそれあり。 |
| 飲み込んだ場合 | 飲み込むと有害。 |
| 発癌性 | なし |
| 変異原性 | なし |
| 生殖毒性 | R62- 生殖機能不全を引き起こす可能性あり。 R63- 胎児に有害の可能性あり。 |
| 感作性 | なし |
| 特定の臓器への影響 | 通常使用状況下での影響は何も知られていない。 |

## 12. 環境影響情報

| | |
|---|---|
| 生態毒性 | 情報なし |
| 移動性 | 情報なし |
| 生分解 | 本質的に生分解性 |
| 生物濃縮 | 生物濃縮しない |

## 13. 廃棄上の注意

地方自治体の規定に従い処分する。

## 14. 輸送上の注意

国際航空運送協会

| | |
|---|---|
| 品名 | 輸送規制上、危険とは分類されていない |
| 危険有害性クラス | なし |
| サブクラス | なし |
| 包装等級（ＰＧ） | なし |
| 国連番号 | None |

## 15. 適用法令

法規制（一覧）

遵守している

| 化学名 | 労働安全衛生法 | 化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法） | 毒物及び劇物取締法 | 消防法 |
|---|---|---|---|---|
| ストレプトマイシン硫酸塩 | 掲載されていない | 掲載されていない | 掲載されていない | 掲載されていない |
| アジ化ナトリウム | >1<br>Explosive substance | >=1% | Present (<=0.1% in mixtures)<br>Poisonous Enforcement Order 1 | Group 5 - Self-reactive materials II (listed under Heavy metal azides) |

## 16. その他の情報

本製品の組成に基づき、次の法規制に対する該非を調査しております。消防法、毒物及び劇物取締法、化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法）、労働安全衛生法、化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律、化学兵器禁止法、水質汚濁防止法、大気汚染防止法、麻薬および向精神薬取締法、覚せい剤取締法、大麻取締法。

改訂の理由　　（化学物質等）安全性データシートの内容を更新

研究上の使用のみ。 人間または動物の診断上または治療上の使用は意図されていない。

上記情報は、詳細な検索および/または調査によって得られたものであり、推奨する情報は専門家の判断に基づいています。本品の安全情報データは、全ての情報を網羅しているわけではなく、指針としてのみ利用されるものです。全ての原材料および混合物は、危険有害物質である可能性があるため、取扱いには充分な注意を必要とします。使用、容量、および条件は当社の管理対象外であり、当製品の取扱いによるいかなる損害に対しても、当社が責任を負うものではありません。

本MSDSの情報は、明示保証および商品性の黙示保証を含むいかなる黙示保証をも行うものではありません。

以上